

ホームページアドレス
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/
☎=問い合わせ先
内=内線番号
◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎21111/Fax272577
◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎22111/Fax22234
◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎462111/Fax462409
◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎342111/Fax343584

募集

出逢い＆ふれあいの会

真剣に結婚を望んでいる独身の男性・女性のための「出逢いの場」のパーティです。
●日時 7月28日(日)／午後1時～5時
●会場 鹿島ガーデンヴィラ(北中川原)
●参加料 男性4,000円・女性2,000円
●募集人数 7月28日現在、20歳代から40歳代までの男女各30人(男性は本市または西

案内

児童手当の現況届

児童手当を受給するには、毎年6月に「現況届」の提出が必要となります。現況届が提出されない場合は、6月以降の手当が受けられなくなりますので、ご注意ください。
●受付場所・期間 本庁舎子ども課特設窓口・各庁舎教育振興課 6月3日(月)～28日(金)／各行政センター 6月3日(月)～21日(金) ※平日のみ
●受付時間 午前8時30分～午後5時15分
●持参するもの ▼現況届(6月上旬に郵送します)
▼印鑑 ▼請求者(保護者)本人の健康保険証のコピー(国民年金加入者は除く)
▼平成25年1月2日以降に転入された方は、平成25年1月1日に住所があった市区町村から取得した「平成25年度児童手当当用所得証明書」▼児童と別居している場合には、「別居監護申立書」(別居監護申立書は各受付窓口にあります)

白河郡在住の方)
●申込受付期限 6月30日(日)まで(電話の受付は、平日の午前8時30分から午後5時15分までとなります)
※プレイベントも実施しますので、詳しくはお問い合わせください(プレイベントのみの参加はできません)。
●本庁舎地域支援課 内2257 / Eメール chiki@city.shirakawa.fukushima.jp / 各庁舎総務課 表郷☎22111 大信☎462111 東☎342111

子ども読書活動推進計画案(パブリックコメント)

家庭、保育園、幼稚園、学校、図書館が連携して、子どもが自主的に読書できる環境を整えることで、読書の楽しさを伝え、生きる力を育てていくことを目標に、計画案を策定しましたので、市民の皆さんからのご意見を募集します。
●募集期間 6月11日(火)～7月10日(水)
※応募方法など、詳しくはお

▼児童の住所が他市区町村の場合には、「お子さんの住民票謄本」※他の書類が必要になる場合があります。
●本庁舎子ども課 内2732 / 各庁舎教育振興課 表郷☎4782 大信☎463975 東☎343146

男女共同参画週間

6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。
今年「紅一点じゃ、足りない。」をキャッチフレーズに、男女共同参画社会の実現に向け、国などで様々な取り組みが行われます。
●内閣府男女共同参画局総務課 ☎03・5253・2111

松くい虫航空防除

南湖のアカマツを守るために、下図の区域でヘリによる航空防除を行います。周辺地域の方は、洗濯物の取り込みや、自動車に覆いをかけるなど、ご協力をお願いします。また、散布中や散布後1日間は区域内に立ち入らないで

問い合わせください。
●市立図書館 ☎3250

第2回ちよい飲みツアー参加者

参加店の3店舗を巡り、ちよっと飲んで、ちよっと食べる、夜のお店を巡るツアーです。
●日時 6月18日(火)／午後7時～9時
●定員 20人 ※先着順
●参加料 2,100円
●申込期限 6月14日(金)まで
※コースは当日発表します。
●申し込み・問い合わせ先 白河商工会議所 ☎3101

パソコン教室

《昼間初級講座》
●日時 7月29日(月)～8月26日(月)(毎週月・水・金曜日) ※8月14日(水)・16日(金)は休み / 午前9時～正午
●会場 市産業プラザ人材育成センター(中田)
●受講料 1万円
●内容 ワード、エクセルの基礎
●定員 20人(先着順)
●申込開始 7月1日(月)から

ください。また、残効期間がありますので、山菜などは8週間採取しないでください。
●日時 6月10日(月)／午前5時～7時 ※天候により順延になります。



金婚夫婦の表彰

県老人クラブ連合会と福島民報社では、金婚式を迎えられる夫婦を表彰しています。該当者は、昭和38年1月1日から12月31日までに結婚された夫婦です。表彰を希望される方は本庁舎高齢福祉課、各庁舎市民福祉課または各老人クラブへお申し込みください。なお、昨年まで申し込みをされなかった金婚夫婦も受け付けています。

●受付時間 午前9時～午後5時 ※平日のみ
●申込方法 受講料を添えて、センター窓口へ直接お申し込みください。
●同センター ☎23512

福島大学白河サテライト教室前期講座

●日時・内容 ▼7月13日(土)「放射線問題と小売業」 ▼21日(日)「ふくしま農業の未来を拓く」後継者が参入する産業へ」 ▼27日(土)「福島県の水産物の放射能汚染状況と検査体制について」 ▼8月10日(土)「なぜ進まないのか? 除染」 ▼24日(土)「農畜産物放射能問題」現場で起きたこととその対策」 / 午後2時～4時
●会場 市立図書館(道場小路)
●受講料 ▼一括受講(5講座分) 4,000円 ▼個別受講(1講座分) 1,000円
●定員 40人 ※先着順
●申込期限 7月10日(水)まで
●申し込み・問い合わせ先 本庁舎生涯学習スポーツ課 内2382

視覚障がい者相談会

●日時 6月26日(水)／午前10時～正午
●会場 中央老人福祉センター「白寿園」(北中川原)
●内容 医療相談、福祉相談、福祉用具の展示等
●担当医師 桜水さかい眼科 橋本禎子医師
●持参品 身体障害者手帳(お持ちの方)および印鑑
●申込期限 6月19日(水)まで
●本庁舎社会福祉課 内2714

青少年健全育成推進大会

●日時 7月8日(月)／午後2時20分から
●会場 市民会館(手代町)
●内容 市内中学校8校の代表による「少年の主張」、青少年健全育成成功者・優良団体等の表彰など
●入場料 無料
●本庁舎生涯学習スポーツ課 内2383

案内

飼いのしつけ方教室

- 日時 ▽学科 6月19日(水) / 午前9時30分～11時30分
- ▽実技 6月26日(水) / 午前9時30分～11時30分
- 会場 県南保健福祉事務所 (郭内)
- 県南保健福祉事務所 ☎225487

「楽蔵」2周年記念感謝祭

- 《レシートラリー》 期間内に、施設内の店舗で買い物をしたレシート500円につき1回抽選ができます。
- 開催期間 6月22日(土)～29日(土)
- 《イベント》
- 日時 6月29日(土) / 午前9時30分～午後5時
- 会場 楽蔵(中町)
- 内容 レシートラリー抽選会、ステージイベント、ダンス、和太鼓など
- ※フリーマーケットの参加者

を募集します(衣類・雑貨のみ)。

●(株)楽市白河 ☎271448

水道メーターの取り替え

水道メーターは計量法による有効期限が8年と定められています。市では、6月上旬から市内全域の対象となるメーターの取り替えを、業者に委託して行いますのでご協力をお願いします。

なお、取替業者は市水道部の腕章を付けています。

●水道部 ☎273221

水道管の漏水調査

市では、水道の漏水を防止するため、公道および宅地内(止水栓まで)の水道管の漏水調査を行います。公道は夜間に、宅地内は日中に調査を実施しますので、ご協力をお願いします。

なお、調査員は、市水道部の腕章および身分証明書を携帯しています。

●調査期間 6月14日(金)～9月30日(月)

土地の適正管理

●水道部 ☎272541

雑草の繁茂は、害虫などの発生や不法投棄、放火などの犯罪行為を引き起こす可能性があります。

土地の所有者は定期的に雑草の刈り取りを行うなど、土地の適正管理に努めてください。

●本庁舎生活環境課 内2164

まちかど伝言板

初級手話講習会

●日時 6月26日(水)～11月13日(水) (毎週水曜日 計20回)

NHK「八重の桜」で再び白河が登場します!

《6月9日(日) / 午後8時から 第23回「会津を救え」》

会津藩家老西郷頼母と新選組隊長斎藤一が小峰城で新政府軍と戦います。

《6月16日(日) / 午後8時から 第24回「二本松少年隊の悲劇」》

新政府軍が白河から二本松に進軍します。

「八重の桜」番組パネル展 in 白河

- 開催期間 6月21日(金)まで
- 会場 市立図書館ホール(道場小路)

●本庁舎観光課 内2214

／午後7時～9時

- 会場 市立図書館地域交流会議室(道場小路)
- 参加料 1,200円(テキスト代)
- 申込期限 6月20日(木)まで
- 申し込み・問い合わせ先 社会福祉協議会 ☎221159

／白河手話サークル「草原」
渡辺 ☎2528 (夜間のみ)

しらかわ福祉まつり

●日時 6月30日(日) / 午前10時～午後2時

●会場 すばく白河(北中川原)

●内容 ダルライザーショー、消防はしご車、ミニSL、授産施設展示販売、白河旭高校吹奏学部演奏、介護体験など

●社会福祉協議会 ☎221159

『国民に愛された人』

白河市長 鈴木 和夫



市長の手控え帖

5月5日、長嶋茂雄と松井秀喜に国民栄誉賞が授与された。感激で長嶋の目は潤み頬は紅潮していた。「皆さん、ありがとうございます」とのひと月前、しらかわ大使になって頂いている野崎洋光さんから、長嶋の晴れの受賞と喜寿を祝う内輪の会に招待された。野崎さんは、長嶋がアテネオリンピック日本代表監督の折に料理長を務められた。

湯川れい子、やくみつる、著名なアナウンサーら多彩な顔ぶれ。被災地を支援しようとの配慮により、飯館村長・川内村長・古殿町長と私が席につらなつた。誰もが大ファンで、祝賀ムードにあふれたとても気持ちのいい宴だった。ご本人は、びたっときまったスーツ姿で終始にこやかな表情。憧れのスターと写真に収まり感激ひとしおだった。ある方が祝辞で、もっと早く栄に浴してもよかった、これで胸のつかえがとれたと述べていた。

金字塔をたてた王貞治や衣笠祥雄に与えられたのはうなずける。だが、国民の多くがミスタープロ野球と称される人が推挙されないことに違和感を覚えていた。王も当然なら長嶋も当然というのが素直な感情。何をもちて栄誉とするかは難しい。勿論、判断の基準は記録。しかし、ときにこれを凌ぐ強烈な印象で長く記憶に残る人もいる。長嶋は王の記録には及ばないものの、その輝きは他を圧していた。

昭和33年、当時プロより人気のあった東京六大学のスターとして巨人へ。この年、ホームランと打点王に輝く。打率はわずかの差で2位と、三冠に手が届く活躍。球界のエース金田正一との開幕戦で4連続三振。金田は「スイングの速さはいわゆるもの。いずれ俺を打つだろう」と言ったとか。鮮烈なのは翌年の天覧試合。巨人阪神同点で迎えた九回裏。好敵手村山実の5球目を叩きレフトスタンドへ。劇的なサヨナラホームラン。陛下も身をのり出しポール際を見ておられた。ここからプロ野球の隆盛は始まったといわれる。

オールスターや日本シリーズに滅法強く、燃える男といわれた。一挙手一投足が絵になった。ヘルメットがベンチ前まで飛んでいく豪快な空振りでわかせる。普通ならショート将球を、横取りするようにカットし一塁へ。スローイングの後、右手をひらひらさせる仕事。なんでもない球が股をくぐりぬけていく見事なエラー。ホームランで意気揚々と一周したが、一塁を踏まずアウト。一塁ランナーで、ライトへの球がヒットになると思い全力疾走。捕球され2塁へ戻る選手を追い越しアウト。何ともおかしい。

相手投手は「計算できない。難しい球でも変なスタイルで打ってしまう」と評する。長嶋話法も面白い。「ひとつの・いわゆる・うん」を多用し、主語述語がよく分からない。「失敗は成功のマザー」と英語が奇妙にまじりあう。人の名前を間違ったり、諺を誤って使ったり。とにかく愛嬌があり笑いを醸し出す。長嶋は、プロは陰の苦労や苦悩を人前で見せるべきでないという。並はずれた努力を重ねプロ意

識に徹し、サービス精神にあふれた千両役者だった。

長嶋監督が誕生する。だが状況は厳しい。勝つことを義務付けられるプレッシャー。しかも自分が去り、王も盛りを過ぎる。ファンは、型にはまった川上野球と違うものを望む。長丁場で勝つには、確率を重んじ、セオリーに忠実なのが近道であることは心得ている。熟慮の末、エキサイティングを重視するスタイルをとる。結果は、日本一という目標からすれば本意なものとなる。川上派の面々からは批判され、マスコミも同調する。球団も抗しきれずまさかの解任。屈辱と忍従の日々が続いた。でも球界の至宝を野に放っておける筈はない。ラブコールの合唱の中再び指揮をとる。ドラマ性と確実性がうまく折り合い、野球人気を盛り上げた。さらに松井という逸材を厳しく指導し、またわが子のように慈しみ大スターに育てあげた。名選手必ずしも名監督ならず。長嶋を名監督と評価する声は少ない。勝つことを至上とし、非情に徹した指揮をすることが一流ならば、そうかもしれない。しかし、感動を与えるのがプロとの信念で、わくわく面白い野球を追い求めた長嶋も、まぎれもない名監督だと思ふ。

球界きっての皮肉屋・辛口の野村克也は、「長嶋は向日葵で俺は月見草」という。実績、数字あれこれではない。長嶋が野球の枠を越えた特別の存在であることを認める。貧しくも明日へ目を輝かせていた昭和のあの頃。夢と希望のシンボルが長嶋茂雄だった。天が遣わしてくれた「まれの人」と、時代をともにできた幸せを感じている。